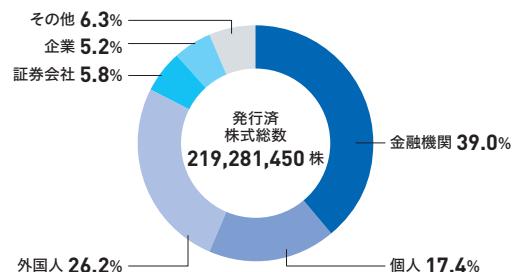


## 株式の情報 (2022年9月30日現在)

### 大株主の状況

順位	株主名	所有株式数	持株比率
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	47,453,100	21.64%
2	株式会社日本カストディ銀行(信託口)	21,524,800	9.81%
3	アルプスアルパイン株式会社	13,801,063	6.29%
4	ゴールドマン・サックス証券株式会社 BNYM	4,232,800	1.93%
5	大樹生命保険株式会社	3,591,000	1.63%

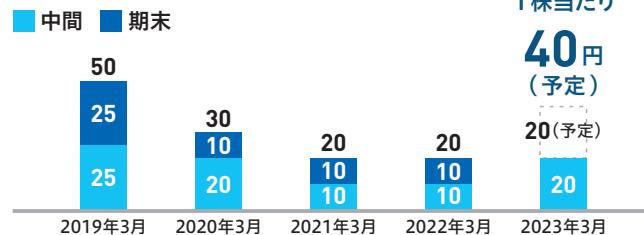
### 所有者別分布状況



(注) その他は、自己名義株式と保管振替機構名義の失念株式、政府・地方公共団体株式の合計です。

(注) 個人は、個人・持株会名義の株式です。

### 配当金推移 (単体)(円)



## 株主メモ (2022年9月30日現在)

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日  
 基準日 定時株主総会権利行使確定日 毎年3月31日  
 期末配当金支払株主確定日 毎年3月31日  
 中間配当金支払株主確定日 毎年9月30日  
 その他あらかじめ公告して定めた日

定時株主総会 毎年6月下旬  
 公告掲載 電子公告により、当社ホームページ  
 (<https://www.alpsalpine.com/j/ir/announce.html>) に掲載します。  
 なお、やむを得ない理由により、電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 東京(プライム市場)証券コード6770

1単元の株式数 100株

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
 ホームページ <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

三菱UFJ信託銀行証券代行部 検索

### 【ご注意】

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、お取り引きのある証券会社などにお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三菱UFJ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

### 株式事務に関するお問い合わせ

三菱UFJ信託銀行証券代行部 テレホンセンター

お問い合わせ ☎ 0120-232-711

受付時間: 土・日・祝日等を除く平日9:00 ~ 17:00

# ALPSALPINE

証券コード 6770

# ALPS ALPINE REPORT

No. 178

## 第90期 報告書

アルプスアルパイン株式会社

2022年11月30日

ALPSALPINE  
 アルプスアルパイン株式会社

〒145-8501 東京都大田区雪谷大塚町1番7号  
 TEL (03) 3726-1211 (大代表)  
 (03) 5499-8026 (IR部門直通)



こちらの報告書PDFは、認証紙に印刷された認証印刷物のデータを使用して作成しました。



## 成長軌道への復活と、 第2次中期経営計画を加速させることで ステークホルダー価値の最大化、 CSR/ESGの両立で更なる成長へ つなげていきます。

皆様へ

朝夕の冷え込みが厳しくなり、冬の到来を感じる季節となりました。皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

上半期のエレクトロニクス業界は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う行動制限の緩和により、個人消費は回復基調が続きました。一方で、世界的な半導体不足や物流需給逼迫の継続、長期化するウクライナ情勢に伴う原油や天然ガス等エネルギー価格の高騰、急激な円

安の進行、更にインフレの加速により不透明な状況が続いています。

こうした事業環境において、当社上半期の業績は、「コンポーネント事業」ではスマートフォン市場の好調によるモバイル機器向け製品が堅調に推移し、「センサ・コミュニケーション事業」ではモバイル機器向けセンサや車載センサが増加、「モジュール・システム事業」では新車生産の回復に伴い売上高が増加となったことに加え、為替による円安効果もあり、前年同期比で増収増益となりました。

当社は2022年4月より新たに、事業セグメントを「コンポーネント事業」「センサ・コミュニケーション事業」「モジュール・システム事業」と再整理し、第2次中期経営計画における事業シナリオの達成に向けて報告セグメントの区分を変更しています。

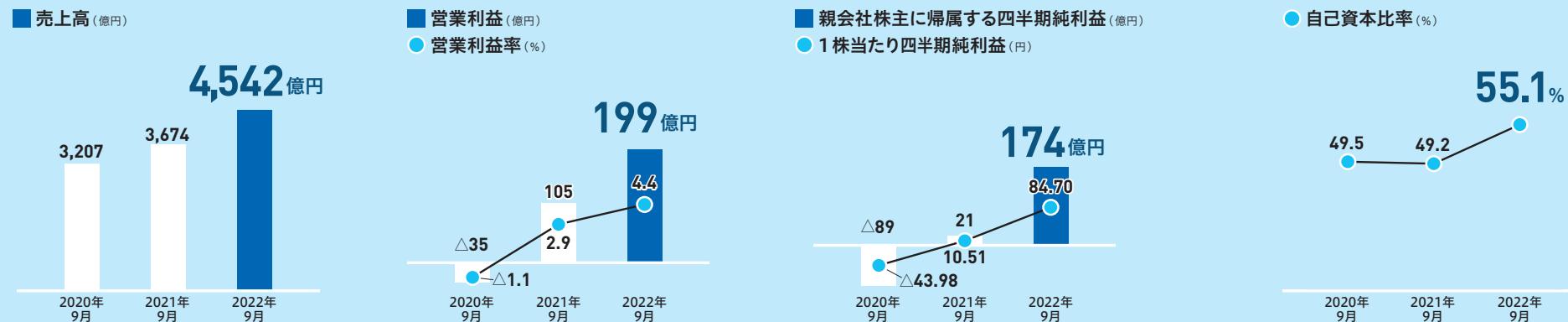
今年は3年ぶりにCEATECが千葉県・幕張メッセで開催され、当社ブースも大変盛況となりました。その概要については本冊子に掲載していますのでご参照下さい。

最後に、当期の中間配当は1株当たり¥20とし、昨年より1株当たり¥10増配させて頂く予定です。当社は株主の皆様への還元方針として従来の「安定配当」から「安定配当+業績連動」の考え方を重視することとしており、事業の成長と共に株主の皆様への還元へ繋げられるよう努力していく所存です。

皆様には、今後も変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

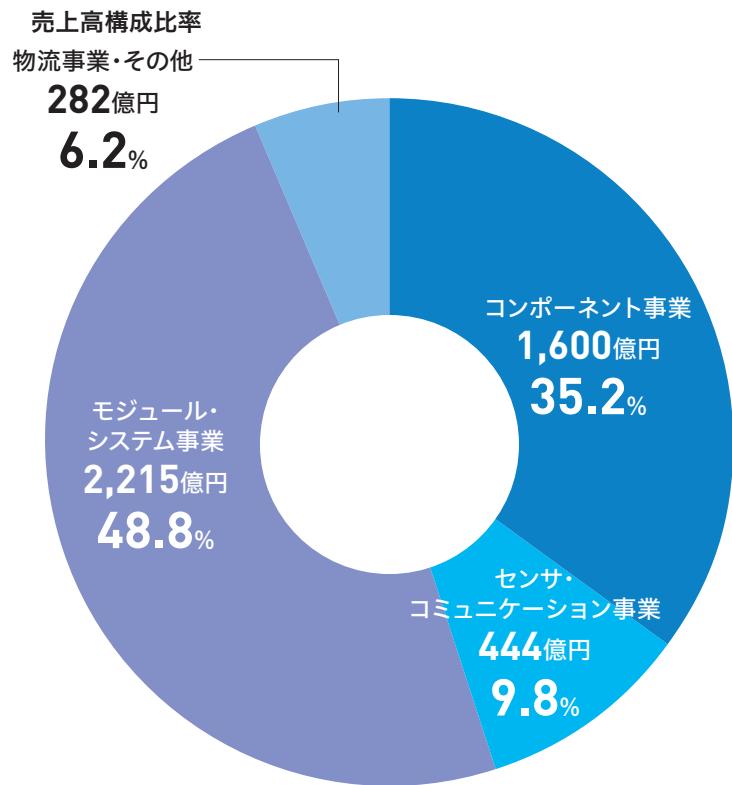
代表取締役社長 執行役員 **栗山年弘**

## 連結業績ハイライト



### 通期の見通し (2023年3月期業績予想)

▶売上高	9,050 億円 (前期比 12.7% 増)
▶営業利益	500 億円 (前期比 42.0% 増)
▶経常利益	570 億円 (前期比 41.5% 増)
▶親会社株主に帰属する当期純利益	400 億円 (前期比 74.2% 増)
▶想定為替レート	米ドル/円 134.49・ユーロ/円 136.87
▶1株当たりの配当金 (単体)	20円 (中間) 20円 (期末予定)



## 物流事業

売上高 **205**億円 営業利益 **18**億円

第1四半期連結会計期間末において、「物流事業」を構成していた(株)アルプス物流及びその子会社25社を持分法適用会社に変更したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より、「その他」の区分に含めています。

## コンポーネント事業

売上高 **1,600**億円  
営業利益 **217**億円



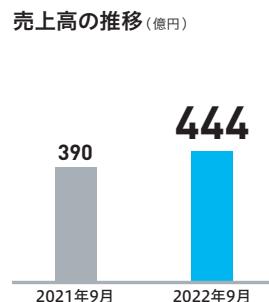
### ゲーム機向けやスマートフォン新旧モデル向けが堅調に推移

中国での新型コロナウイルス感染拡大に伴うロックダウンにより、一部コンポーネント製品の生産に影響があったものの、巣ごもり需要の継続や顧客メーカーのスマートフォンが販売好調となり、モバイルやゲーム機などを含む民生機器向け製品が堅調に推移しました。更に、円安効果もあり売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。



## センサ・コミュニケーション事業

売上高 **444**億円  
営業利益 **7**億円



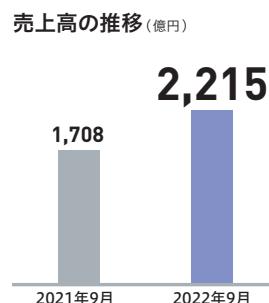
### 車載向けセンサ、プリンタが好調に推移

民生機器向けセンサは、スマートフォン市場やプリンタ製品の好調により堅調に推移しました。車載向けは、為替の円安効果により二輪車を含めた車載センサが増加し、同様に通信デバイスも増加しました。しかし、資材や物流費等のコスト増加の影響を受け、営業利益では前年同期を下回る形となりました。



## モジュール・システム事業

売上高 **2,215**億円  
営業利益 **52**億円

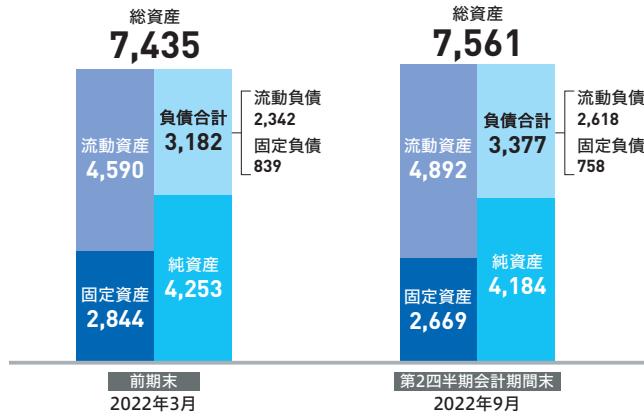


### 資材高騰に対して、コスト削減対応などの挽回が寄与

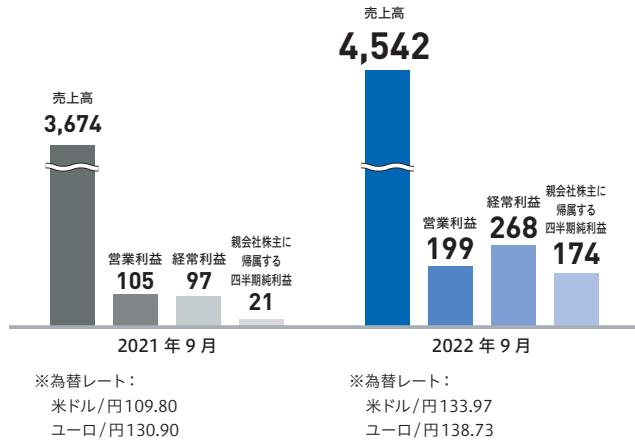
中国での新型コロナウイルス感染拡大に伴うロックダウンにより、第1四半期では半導体をはじめとした部品不足がサプライチェーンの混乱を招き、主要販売先である自動車メーカーの新車生産が大きく減少しました。第2四半期では、新車生産の回復、取引先への資材や物流費等の高騰分に対する適正価格化活動の強化、現状のコスト削減対応、更に為替の円安効果もあり、営業利益は大きく改善しました。



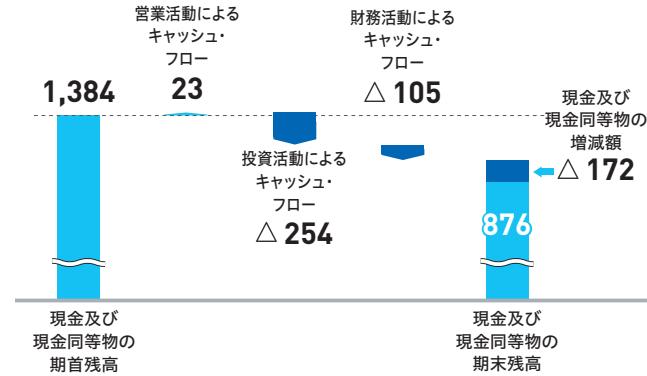
## 連結貸借対照表の概要 (億円)



## 連結損益計算書の概要 (億円)



## 連結キャッシュ・フローの概要 (億円)



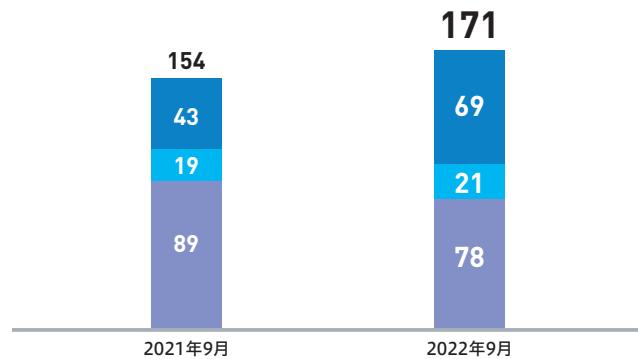
## POINT

- 流動資産**  
棚卸資産、受取手形及び売掛金の増加と、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末と比べ301億円増加の4,892億円となりました。
- 固定資産**  
建物及び構築物、土地、無形固定資産の減少と、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末と比べ175億円減少の2,669億円となりました。
- 負債合計**  
流動負債は、支払手形及び買掛金の増加と、短期借入金の減少等により、前連結会計年度末と比べ275億円増加の2,618億円となりました。  
固定負債は、退職給付に係る負債の減少等により、前連結会計年度末と比べ80億円減少の758億円となりました。

## 研究開発費・設備投資・減価償却費の推移 (億円) ※内訳には連結消去を含んでおりません。

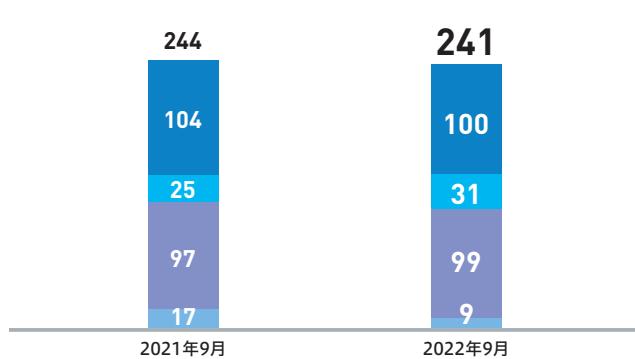
### 研究開発費

■ コンポーネント事業 ■ センサ・コミュニケーション事業  
■ モジュール・システム事業



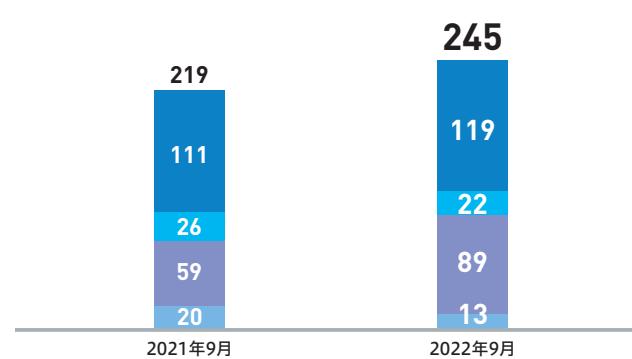
### 設備投資

■ コンポーネント事業 ■ センサ・コミュニケーション事業  
■ モジュール・システム事業 ■ 物流事業・その他

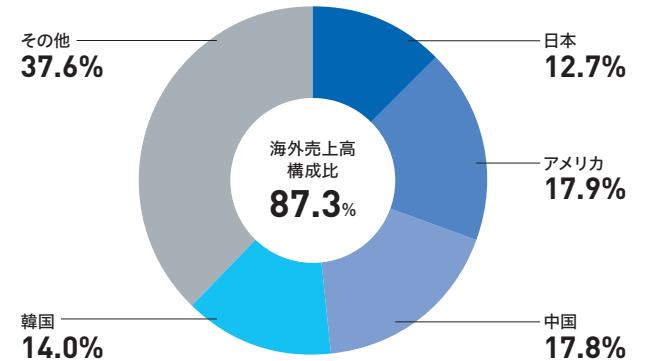


### 減価償却費

■ コンポーネント事業 ■ センサ・コミュニケーション事業  
■ モジュール・システム事業 ■ 物流事業・その他



## 国別売上高構成比



# 次世代のモビリティ社会実現へ

自動運転化、電動化など、100年に一度の大変革が起きている自動車業界。その背景には、世界的な環境規制の厳格化や、自動車のIT化があります。“世界初”や“No.1”の製品を数多く創出してきたアルプスアルパインは、未来のモビリティに必要とされるコア技術に、「感動」「安全」「環境」という3つの価値をプラスし、車載用電子部品の先行開発に力を注いでいます。

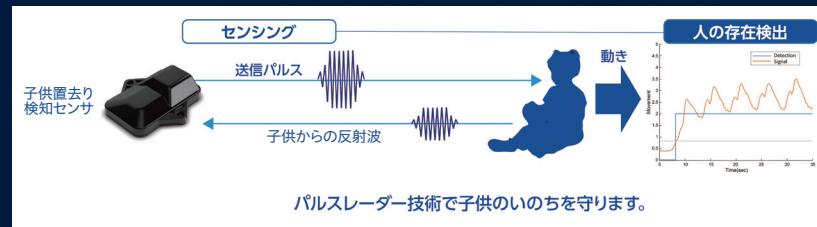
## 感動



## 安全

### 社会課題に挑む 子供置き去り検知センサ

アルプスアルパインの子供置き去り検知センサは、子供の呼吸による胸の動きも検知し、“置き去り”“降ろし忘れ”を防止。パルスレーダー技術により、小型で低コスト、低消費電力を叶えながら、大切ないのちを守ります。



## “「移動」を、「感動」へ。Emotion in Mobility” Digital Cabin

アルプスアルパインのDigital Cabinは、五感に訴えかけ、豊かで上質な快適移動空間を創出する次世代自動車向けの提案。「動くスマートフォン」「動くリビングルーム」「動く会議室」など…クルマの概念が大きく変化する時代に、これまでにない新しい体感価値を創出していきます。



スマートステアリングコントローラ



ルーフディスプレイ



統合ディスプレイ



シースルー電子ミラー



## 環境

### 電気自動車の進化に貢献 電流センサ

アルプスアルパインは、温度や振動など厳しい環境となるエンジン周辺のセンサで培った技術力を生かして、電気自動車 (BEV) 向けに電流センサを開発。小型・軽量化を叶えたことで電費を改善し、脱炭素社会の実現に貢献します。



### 世界初の 技術

### 世界初の技術で、自動運転を支える GNSS モジュール

車載向けにおいて世界で初めて、補正情報なしで車両位置誤差50cmの高精度測位を実現。一般道(幅員約3m)においても確実な車両位置測位で、自動運転機能の高度化に貢献します。



人手不足や、グローバル化に伴う人材の流動化が叫ばれる昨今、優秀な“人財”の「採用」「育成」「定着・活躍」が、企業の持続的成長の鍵となっています。今回、アルプスアルパインのサステナビリティ活動(ESG)のひとつとして紹介するのは、人財への取り組みです。私たちが目指すのは、性別、年齢、国籍などを問わず、多様な価値観を持った人が集まり、働きがいを持ちながら、成長しつづけられる環境。そんなD&I(ダイバーシティ & インクルージョン)の土壌から、新たなイノベーションも生まれると確信しています。

## 人的資本の活用

国内外から優秀な  
人財を採用

変化・変革に対応できる  
人財を育成

多様なライフスタイルを支援し、  
長く働ける環境を整備

## 企業の競争力強化

技術やノウハウの醸成・蓄積

労働生産性の上昇

人財活性化による組織能力の強化

企業価値の  
持続的向上

## 採用

### 外国人採用を推進「IAP制度 (International Associates Program)」

「IAP制度」とは、海外の大学等を卒業した外国人を雇用する、当社独自の採用プログラム。30年以上の歴史があり、欧州、北米、アジア、アフリカの国々から合計100名以上を採用してきました。今年も4名が入社予定です。



2022年入社メンバー  
(前列)

大きな変革期にある中、この状況を逆境ではなくチャンスと捉え、「自らの成長のきっかけとして楽しみながら、チャレンジを続けていこう」という姿勢を持った人財を、戦略的に採用しています。

人事部採用課 課長 松本力



### 能動的な人財確保に向けた 「産学連携強化」

大学や高専と連携し、講義、共同開発、ワークショップの開催を実施。技術の醸成を行なうだけでなく、優秀な人財の確保に能動的に取り組んでいます。

## 人財育成

### グローバル人財を育成する 「海外トレーニー制度」

社員を、海外の現地法人などへ1年間派遣。異文化・異言語でのビジネスや生活体験を通して、国際的な視野と行動力を持った「グローバル人財」を育成します。

### ベンチャーメンタリティを醸成する 「カルチャー改革」

社員の主体的な行動を促進するため、カルチャー改革を推進中。その第一歩として、新しいモノ/コトを創出するコミュニケーションスペースを、社員らがDIYで作る「IPPOプロジェクト」を実施しました。

また、新規事業のアイデアを提案できる社内ポータルサイト「Pitch Cub」も運営中。社歴や役職にかかわらず、社内の誰もが知恵や意見を出し合い、アイデアの具現化に取り組んでいます。



## 定着・活躍

### 多様なライフプランや、 長期のキャリア形成を支援 「働きがい醸成」



妊娠・出産・子育て・介護…従業員がそれぞれのライフプランを叶えながら、個性や能力を最大限に発揮できる職場づくりを進めるアルプスアルパイン。働き方改革により、社員の長期的な成長・活躍を応援しています。

- キャリア開発支援
- フレックスタイム制度
- ICTによる効率化
- 多目的特別休暇
- テレワーク
- 時短勤務

### 「第5回日経スマートワーク経営調査」 3.5星に認定(2021年調査)

働き方改革を通じて生産性革命に挑む先進企業を選定する「第5回日経スマートワーク経営調査」(日本経済新聞社)において、3.5星に認定されました。



CEATEC  
2022

# アルプスアルパイン CEATEC 2022に出展

アルプスアルパインは、CEATEC 2022において入力操作を支えるスイッチ製品、世の中の感触ニーズにこたえるハプティック®製品、業務効率化・社会課題のソリューションにつながるセンシング・次世代通信に係る製品、移動空間の感動を生み出すカーオーディオ世界初ハイレゾ対応デモカー、空中表示アイコンにより空間に融けこむデザイン性の実現かつ衛生的に非接触入力操作を行える空中入力インターフェイスなど、より快適で効率的な社会を目指す Society 5.0に向けた製品を展示しました。



## 幕張メッセ会場展示に関して

今回、2019年以来3年振りにリアル展示として、幕張メッセ会場にて開催しました。当社ブースには、会期の4日間で延べ5,857名が来場され、「子供置き検知センサ」や「ステルス空中インターフェイス」を始め、29点の製品を展示し大変盛況となりました。



## オンライン会場展示に関して

CEATEC 2022では初めてオンラインとリアルでの展示を行いました。オンライン展示では動画で、当社社員による展示製品の開発までの過程や、今後のビジネス展望などを丁寧に説明しました。加えて、2022年4月より当社のセグメントが変更された内容にも触れ、セグメント毎の対象となる製品の説明も併せて行いました。

**ALPS ALPINE**  
Perfecting the Art of Electronics

CEATEC®  
AWARD

2022

準グランプリ受賞

ステルス  
空中インターフェイス



空中に浮いたアイコンで衛生的に操作ができる非接触操作デバイスとなります。リビングルーム、ベッドルーム、キッチン、トイレなどの操作パネルやショッピングセンターなどの受付パネル、今後の自動車における安全・快適・感動な空間を提供する自動運転車室内操作パネルなどでの使用を想定しています。加飾印刷技術を応用したデザイン性に優れたステルスアイコン機能も搭載し、先進的・革新的な技術で安全な社会へ貢献する製品です。



Alpine F1 Status デモカー



ハプティック®リアクタ ワイドバンドタイプ



子供置き検知センサ



ハプティックコマンド® ロータリータイプ

TOPICS 6月  
IoTソリューション「アナログメータ監視システム」が、凸版印刷との連携により、工場環境データの統合モニタリングに貢献

アルプスアルパインが開発したIoTソリューション「アナログメータ監視システム」が、凸版印刷株式会社のDXソリューション「e-Platch™（イープラッチ）」とのシステム連携を実現しました。

昨今、製造現場における環境保全が、企業の社会的責任となっていますが、環境データを収集する上では、作業員の巡回検針などの負荷が課題となっていました。新たにデジタルメータを設置するためには、高額な投資が必要。また、多くの工場では電波の届かない地下や屋外などに測定器・センサが設置されており、従来のネットワーク技術ではIoT化は困難でした。

そこでアルプスアルパインは、既設されたアナログメータに「後付け」することでメータ値の遠隔自動検針を可能とする、手軽で導入ハードルの低いIoTソリューション「アナログメータ監視システム」を開発。凸版印刷株式会社が普及を推進する、死角のない次世代通信ネットワーク「ZETA（ゼタ）」を活用するとともに、同社の開発した、環境データを自動収集・分析・レポートする「e-Platch™」とのシステム連携を実現。工場の環境保全における作業負荷の軽減や、データの「見える化」を後押ししています。



既設のメータに「後付け」可能

TOPICS 7月  
女性の健康増進に貢献する製品「ペリノス™」が経済産業省のフェムテック補助金に採択

アルプスアルパインが開発した、自宅で気軽に効果的な骨盤底筋エクササイズを可能とするフェムテック製品「ペリノス™」が、経済産業省の「令和4年度フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」に採択されました。補助金の目的は、働く女性の出産や更年期障害などによる望まない離職を防ぎ、個人の幸福度と企業の人材多様性を高め、企業価値を向上すること。当社の提案が評価・採択されたことを受け、事業化に向けて検証を進めています。



TOPICS 9月  
アルプスアルパインと七十七銀行がものづくり産業の振興における連携協定を締結

アルプスアルパインと株式会社七十七銀行は、地域の製造業などの振興に貢献するため、連携協定を締結しました。現在、宮城県における自動車産業や高度電子機械産業の集積促進によって、地元の中小企業にも先進的技術を活用した業務効率化や製品・サービスの高付加価値化が求められています。当社は株式会社七十七銀行と連携し、企業の困りごとやニーズをヒアリング。ものづくりのノウハウを持つベテラン人材を活用する形で、現場改善支援、業務のデジタル化支援、人材育成などの課題解決に取り組み、地域産業の活性化を図ります。

第89回定時株主総会開催

6月23日、本社ホールにて新型コロナウイルスの感染防止対策を行った上で、第89回定時株主総会を開催しました。今回は5つの議案が上程され、いずれも賛成多数により原案通り承認、可決されました。

第90回定時株主総会は、2023年6月23日（金）に本社ホールで開催予定としております。

株主総会資料の電子提供制度に関するご案内

制度の概要

会社法改正により、来年の株主総会から株主総会資料の電子提供制度が開始されます。書面でご送付していた「招集のご通知」は、原則ウェブでのご提供となります。継続して書面でお受け取りを希望される場合、※書面交付請求が必要となります。

当社の対応

当面、すべての株主の皆様へ「招集のご通知」の書面をご送付する予定です。書面交付請求された場合においても、お送りする書面は同一です。



※書面交付請求とは、インターネットを利用することが困難な株主様を保護するためのお手続きです。お申し出いただいた株主様には、「招集のご通知」を書面でお送りするものです。

株主総会資料の電子提供制度に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電子提供制度専用ダイヤル 0120-696-505  
(受付期間:土・日・祝日を除く平日9:00～17:00)  
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>



社名	アルプスアルパイン株式会社
英文社名	ALPS ALPINE CO., LTD.
設立	1948年11月1日
資本金	387億3,000万円(2022年3月末現在)
従業員数(連結)	30,520人
事業内容	オートモーティブ・モバイル・エネルギー・IoT・インダストリー各分野の各種電子部品・電子機器の研究・開発・製造・販売

ホームページのご紹介

トップページ



<https://www.alpsalpine.com/j/>

IRページ



<https://www.alpsalpine.com/j/ir/index.html>